

段差解消駅は 86%

バリアフリー調査（国土交通省）

国土交通省は1日、2015年3月末現在の公共交通機関のバリアフリー化状況を公表した。バリアフリー法に基づき、1日当たりの平均利用者数が3,000人以上の旅客施設（鉄道駅3,542、バスターミナル48、旅客船乗り場14、空港35）などの状況をまとめた。

段差の解消は鉄道駅86%、バスターミナル90%、旅客船乗り場100%、空港86%で実施。視覚障害者誘導用ブロックは鉄道駅94%、バスターミナル

85%、旅客船乗り場71%、空港100%で設置していた。

障害者用トイレは鉄道駅83%、バスターミナル68%、旅客船乗り場92%、空港100%。また移動等円滑化基準の適合車両は鉄道車両65%、ノンステップバス50%、リフト付きバス6%、旅客船37%、航空機96%で導入されていた。

（福祉新聞・第2788号 2016年11月28日）